瀬戸内ルート

⑤多島美を展望するみち

主な見どころ

●風の道

平成２年廃線となった下津井電鉄の軌道敷跡地を歩行者と自転車専用道として整備したもの。延長は約６ｋｍで周辺住民の方々が季節ごとの花を植え競艇場から下津井までは海の景色や野草、自生している木々などを楽しみながら歩く事が出来る。

●祇園神社

下津井港に突出した浄山の岬にある祇園神社は，下津井港が栄えた江戸時代後半頃に長浜宮と祇園宮を合祀した神社である。

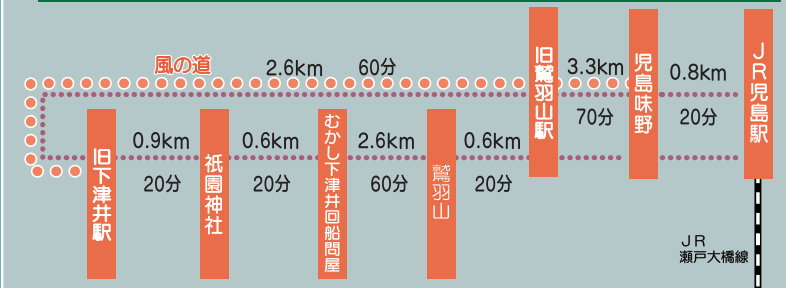
●むかし下津井回船問屋

今に残る回船問屋の建物を当時に近いかたちで復元した、休憩所や食事処などがある多目的な施設。もともと江戸時代に金融業と倉庫業を営んでいた住宅を明治初期に回船問屋高松屋が取得し、商家として使われていた。

●瀬戸大橋・鷲羽山（コース付近）

鷲羽山は備讃瀬戸の多島美を望むことができる瀬戸内海国立公園随一の展望地であり、国の名勝にも指定されている。瀬戸大橋は本州四国間を結ぶ長大橋で全長9.4km、道路・鉄道併用橋としては世界一のスケールである。

コース案内



■1日コース延長15.5km
■時間 6時間